

安全に関する ポリシーおよび規制

WorldSkills Shanghai 2026

目次

1 全般	3
1.1 安全規制の概要	3
1.2 共有された目標-0害	6
1.3 安全ポリシーステートメント	6
2 責任と保険	7
3 一般安全規則	8
3.1 準備	8
3.2 電気	12
3.3 高温作業区域の一般安全規則	17
3.4 ハンドアームの振動と騒音	19
3.5 研削および粉塵を発生させる作業	19
3.6 圧縮空気	21
3.7 ツールボックス_bookmark 15 リスク予防_bookmark 16 ハウスキーピング	21
4 リスク予防22	22
4.1 ハウスキーピング	22
4.2 食品衛生	22
4.3 手と皮膚の保護	23
4.4 高所作業	24
4.5 危険物・危険物	24
4.6 スリップおよびトリップの危険	25
4.7 危険な行動	25
4.8 エントリまたはアクセス制御なし	25
5 応急処置と緊急避難	26
5.1 洗眼ステーション	26
6 火災安全	27
6.1 火災予防安全	27
6.2 火災発生時	28
6.3 消火を試みる	28
6.4 喫煙	28
7 ワークショップ（各職種競技場）の安全ゾーン	29

1 全般

本イベントは、参加する職種競技の性質とそれに付随する危険、技能競技大会の環境、不慣れた機械や工具、時間的制約、そして参加に伴う興奮により、安全性の面で課題が生じる可能性がある。このため、WorldSkills Shanghai 2026安全チームは、WorldSkills Shanghai 2026の計画と実施における一般的な安全意識の重要性を強調したいと考えている。これにより、本イベントに関わり、出場する、認定されたすべての参加者のための、安全なイベントと作業環境が保たれることになる。

各技術代表は、本イベントの開始前に、同国/地域選手およびエキスパートが正しい行為について説明を受け、大会開催組織の安全規則を十分に知らされていることを確認し、それにより同国/地域選手およびエキスパートが、これらの要件を理解し、遵守できるようにする責任を負う。ワークショップ（各職種競技場）に立ち入る可能性のあるすべての者は、安全に関する情報と指導を受ける必要がある。これは、習熟に先立ってワークショップ・マネージャ（WM）が実施する。各参加者は、その後直接署名することによって、これが事実であることを確認しなければならない。

この文書は、以下の関連する8つのセクションに分かれている。

- セクション1：一般情報
- セクション2：責任および保険
- セクション3：一般安全規則
- セクション4：リスク防止
- セクション5：応急処置および緊急避難
- セクション6：火災安全
- セクション7：ワークショップ（各職種競技場）安全区域

1.1 安全規則の概説

イベントの安全規則およびスキル（技能）固有の安全規則は、（最低限）中華人民共和国の法令に従う。詳細については、WorldSkills Shanghai 2026公式ウェブサイト（中国本土の中国語使用者は<https://worldskills2026.com.cn/>、グローバル英語ユーザーは<https://worldskills2026.com/>）および<http://openstd.samr.gov.cn>で公開されている中国国家基準を参照すること。

本文書は、WorldSkills Internationalのウェブサイトで公開され、すべてのWSI加盟国/地域、会員に電子的に配布される。

これは、安全行動に関するガイドラインとともに、健康、安全、環境に関する主な要件の概要を示すものである。WorldSkills Shanghai 2026の会場に入るすべての者は、これらの規定を注意深く読み、常にそれに従わなければならない。安全チームは、イベントの前に、安全開催ガイドの要件に従って、適用される規則に関するトレーニングを関係者に実施する。

WMは、技能競技大会の開催場所に入るすべての者に対して、関連する規則のトレーニングを実施し、確実に規則を遵守するようにする。

すべての参加者は、事故を防止し、リスクを管理するために断固とした行動を取らなければならない。

すべての参加者は、安全に関する指示および必要な規則に対して、真摯かつ誠実な態度をとらなければならない。

本文書には、主要な安全規則が記載されており、当規則はワークショップ（各職種競技場）の参加者全員にとって重要である。また、安全行動に関するガイドラインと情報も含まれており、これらはWMを通じて、職種競技に関わるすべての者に提供される。

イベントに関わるすべての者は、事故防止のためのポリシーおよびこの文書の以降に記載されてい

る項目を誠実に遵守する責任を負う。また、事故防止規則に違反した場合、ワークショップ（各職種競技場）またはイベントから除外される可能性があることを認識している。

作業中の安全を確保するためにとられた対策は、所轄官庁、機関、およびその他のさまざまな関連専門家と協議して作成および実施された。

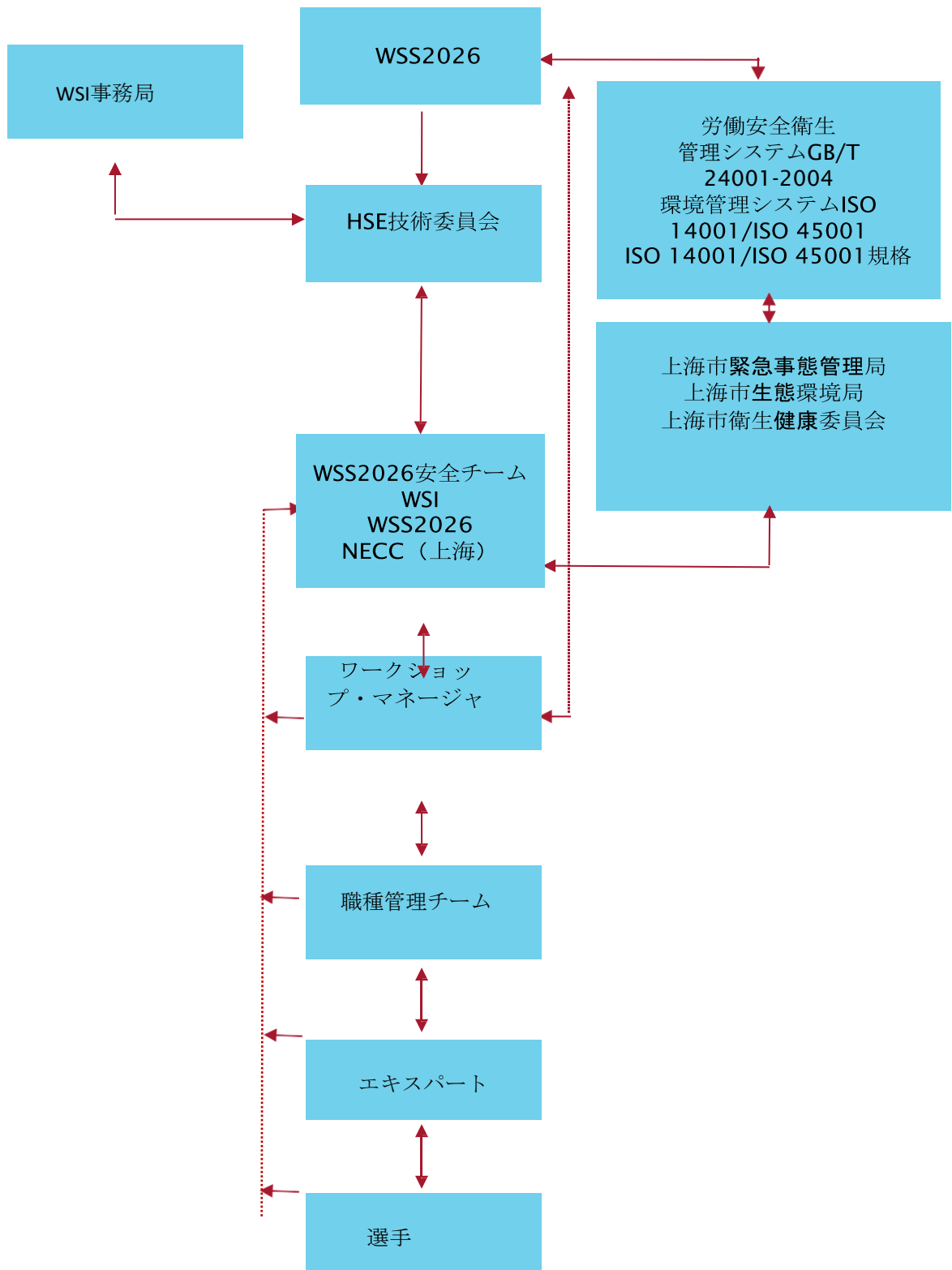
技能競技大会の開催場所全般およびすべてのスキル（技能）分野は、技能競技大会の開始前およびイベント中は常に安全チームによって検査が実施される。大会開催組織は、イベント前にインシデント対応計画を提供し、必要と判断された場合はイベント中にこれを実施する。

職種競技の開始前に一般的な安全上の懸念がある場合は、スキル（技能）固有の安全上の問題についてWorldSkills Shanghai 2026安全チームおよび/または各WMに連絡すること。

習熟またはイベント自体において、安全規則が遵守されていない場合は、WMに直ちに通知しなければならず、この行動を緊急の問題として是正する義務がある。

WorldSkills Shanghai 2026は、作業機器、材料、装置、機械の不適切な取り扱い、または技術的安全設備の無効化が発生した場合に、認定された参加者に注意を促したり、ワークショップ（各職種競技場）およびイベント環境から除外したりする権利を留保する。

1.1.1 安全報告体制



WorldSkills Shanghai 2026安全チームは、国際法に準拠した設備および環境を含むすべてのインフラストラクチャに責任を負う。

WM、SCM、エキスパートは、すべての安全要件に従って、それぞれの職種競技および関連エリアの計画および運営に対して責任を負う。

技術代表および全チームリーダーは、すべての選手およびエキスパートに対して、設備および材料を使用する前に、中国の安全規制に関する正確かつ完全な情報を確実に提供する責任を負う。

職種競技は、すべての安全規制に適合していなければならない。エキスパートまたは選手の国/地域の安全基準と中国の基準に違いがある場合、より高い安全規制がエキスパートまたは選手に対して適用される。

1.2 共通の目標-危害ゼロ

WorldSkills、そのWSI加盟国/地域、および大会開催組織は、イベントで成功を収め、積極的な安全文化を築くという共通の目標を掲げている。そのため、認定されたすべての参加者に危害ゼロのビジョンを周知させたいと考えている。これは、何よりもまず、参加者がすべての事故を予防可能なものとみなすように奨励することを目的とした理念である。

危害ゼロのアプローチとは、危険と関連するリスクの評価、すべての安全規則への遵守、工具と機械の安全な操作、個人用保護具の着用、個人用保護具の良好な状態の維持、メインイベント会場全体での適切な清掃の維持によって、安全意識を高めることを意味する。

1.3 安全に関するポリシーの声明

イベントに参加するすべての個人の安全と福祉は極めて重要である。本文書で説明されている安全に関するポリシーおよび規制を遵守することは、WorldSkills Shanghai 2026に参加する条件であり、すべての者の責任であり、便宜のために犠牲にすることはしないものとする。

すべてのインシデントは防止できるという強い確信に従い、次のことに対して、あらゆる努力を払う必要がある。

- 危険および関連するリスクの特定。
- 潜在的な危険について知る必要がある者への通知。
- 合理的に実行可能である場合、これらの危険のリスクの制御または低減。

安全は、WorldSkills Shanghai 2026、WorldSkills International (WSI) およびそのWSI加盟国/地域が共同で負う責任であり、これらの両組織のほか、本イベントに関わるすべてのボランティア、参加者、エキスパート、および選手は、安全基準に対して同等の責任を負う。安全は、本イベント中の活動の不可欠な要素である。そして、実証されたプラクティスを継続的に実践することで、共同してポジティブな安全文化を創造し、イベントを成功に導くことができる。

関係するすべての個人は、知る権利、参加する権利、および拒否する権利を有し、本マニュアルに記載されている基準を理解し遵守することが求められる。

認定されたすべての参加者、WorldSkills Shanghai 2026、WSI、およびすべてのボランティアは、本マニュアルおよび本イベントのメイン会場の安全に関する規則および規制を例外なく遵守しなければならない。

2 責任および保険

WSIおよびWorldSkills Shanghai 2026は、参加者の本イベントへの参加を原因とする、または中国への入出国もしくは中国滞在中に発生したいかなる損害、負傷、または疾病に対しても責任を負わないものとする。

注意！ WSIおよびWorldSkills Shanghai 2026は、上記の記載どおり、認定された参加者の損害、疾病、または負傷については補償しないことに留意する。

したがって、各チームおよびWSI加盟国/地域は、選手、エキスパート、およびその他の認定された参加者を適切な保険に加入させる必要がある。これに関する詳細については、保険会社または大使館に問い合わせること。

認定されていない参加者は、WorldSkills Shanghai 2026が加入する保険の対象とはならない。したがって、負傷、疾病、財産の損失、またはその他の損害に対する責任は、各個人が負う。WorldSkills Shanghai 2026は、大会開催組織の過失によるものを除き、負傷や損失に対して責任を負わず、損害賠償を支払わないものとする。

認定されたすべての参加者は、技能競技大会のすべての段階で事故を防止し、リスクを管理するために断固とした行動をとらなければならない。

以降のセクションでは、以下の事項について、遵守しなければならない一般的な安全規則および取り決めについて説明する。

- 技能競技大会中の安全
- 個人用保護具（PPE）安全規則
- 有害物質の安全性
- 電気の安全性
- 機械の安全性
- 火気使用作業の安全性
- スキル（技能）固有の安全に関する通知

スキル（技能）固有の安全に関する指示の詳細については、それぞれの職種定義のセクション7を参照すること。

3 一般的な安全規制

3.1 事前の準備

ワークショップ（各職種競技場）に立ち入るすべての者は、技能競技大会に参加する前に、適用される安全規則に精通していなければならない。

工具および機器をイベント会場に輸送する前に、すべての機械と装置、および持参する個人用保護具（PPE）が完全に機能し、このガイドに記載されている必要な基準または同等の国内/国際基準を満たしていることを確認すること。

3.1.1 安全オリエンテーション

すべての認定された者は、イベントの前に安全オリエンテーションを受ける。これらの指示については、大会開催組織および各ワークショップ（各職種競技場）内のWMの責任となる。

これらの指示には以下が含まれる。

- 緊急避難手順
- 応急処置および緊急事態
- 火災安全
- 負傷および事故報告要件
- 特定の職種競技およびワークショップ（各職種競技場）に関する一般的な安全問題
- 職種競技およびイベント全体に特有のリスク/危険
- 機械および装置固有の安全要件（該当する場合）

3.1.2 環境保護

WSIおよびWorldSkills Shanghai 2026は、環境保護と、すべての分野における、環境および持続可能性の責任ある管理の重要性を認識しており、競争力および全体的な事業計画を改善するための関連する機会も認識している。そのため、以下について確実にすることを目指している。

- イベントで発生するすべての廃棄物は、承認された廃棄物処理業者により処理される。
- イベント全体で発生するさまざまな種類の廃棄物のために、コンテナが用意されている。
- 天然資源の保全と、WorldSkills Shanghai 2026の指針通りの環境に優しい方法での廃棄物処理を確実にすること。
- すべての騒音は、すべての作業中において実行可能な限り低く保たなければならない。
- 作業によって発生するすべての粉塵は、可能な場合には散水や吸引を行うことで、国の規則に従って実行可能な限り管理、制御、処分を行う。
- 有害物質または危険物は、それぞれの職種競技の継続に必要な量のみを、メインイベント会場に置くことができる。これらの物質は本来の容器に保存しなければならない、少量でも別の容器に移してはならない。これらの物質を扱う際には、提供された安全ガイドラインに従わなければならない。有害物質は、意図された目的にのみ使用することができる。例えば、溶剤を皮膚の洗浄に使用してはならない。
- 使用された有害物質や危険物は、排水溝（家庭用またはその他）に廃棄してはならない。廃棄物は、敷地内から除去し、承認されたプロセスを通じて処分する。
- 流出の防止と管理について考慮する。河川、公共の水路などの汚染されやすい地域には特に注意を払い、汚染の拡大を防ぐための流出キットを利用してもよい。流出が発生した場合は、関連する個別の安全データシートを参照すること。

3.1.3 廃棄物管理

以下の中国の法律は、廃棄物管理と環境保護の原則を定めている。

- 中華人民共和国固形廃棄物による環境汚染の防止と管理に関する法律 (http://www.mee.gov.cn/ywgz/fgbz/fl/202004/t20200430_777580.shtml)
- 中華人民共和国水質汚染の防止と管理に関する法律 (http://www.mee.gov.cn/ywgz/fgbz/fl/200802/t20080229_118802.shtml)
- 中華人民共和国大気汚染の防止と管理に関する法律 (http://www.mee.gov.cn/ywgz/fgbz/fl/201811/t20181113_673567.shtml)。

この政策は、廃棄物の総量を削減し、固形廃棄物管理の持続可能性を高めることを目的としている。そのために、削減、リサイクル、再利用を実施する。さらに、WorldSkills Shanghai 2026は、廃棄物が発生する前に廃棄物の回避とリサイクルを行う厳格な措置を実施し、未使用の廃棄物を持続可能な方法で処分することを目指している。

3.1.4 個人用保護具（PPE）に関する規制

WM、エキスパート、選手、および技術者は、リスク評価で定義されているとおり、作業条件が健康または安全に有害である場合、保護衣の要件に従って、ワークショップ（各職種競技場）で作業を遂行する際にPPEを使用しなければならない。技能固有のPPEの要件は、それぞれの職種定義のセクション7に記載されている。選手は、必要に応じて、そのスキル（技能）に適した独自のPPEの提供を要求される場合がある。使用されるすべてのPPEは、適切な規制およびガイドラインに適合しなければならない。

作業環境が健康または安全に害を及ぼす可能性があることがリスク評価によって示された場合、WM、エキスパート、選手および技術スタッフは、各スキル（技能）で指定されたPPEを着用しなければならない。スキル（技能）固有の要件は、関連する職種定義のセクション7に記載されている (<https://worldskills.org/technicaldescriptions> で閲覧可能)。選手は、独自の機器の提供を要求される場合がある。すべてのPPEは、中国の国家基準GB 39800.1-2020 (<http://openstd.samr.gov.cn/bzgk/gb/newGbInfo?hcno=B8071B9B0A429EB6067597A7C98629C9>) に適合していなければならない。

すべてのPPEの状態と安全性は、他のすべての機器と同様に、職種競技の開始前にSCM、チーフ・エキスパート（CE）、またはWMが検査しなければならない。この安全検査に合格しなかったPPEは、ワークショップ（各職種競技場）から撤去される。すべての選手は、PPEが良好な状態であることを確認する必要がある。損傷した保護具の使用は、イベント期間を通じて禁止する。

PPEを選択する際には、その機器が関連するワークショップ（各職種競技場）のニーズと所定の活動に適していることを確認するために、特に注意を払う必要がある。PPEのメーカーの情報（説明書）およびラベル（例えば保護眼鏡、特殊な用途）は、PPEが該当する職種競技のワークショップ（各職種競技場）に適しているかどうかに関する必要な情報を提供しなければならない。

作業は、必要なPPEが入手可能で使用準備ができている場合にのみ実施しなければならない。実施する作業に応じて、PPEには以下が含まれる。

- 安全靴
- 保護手袋
- 安全ヘルメット
- 保護眼鏡/顔面保護具（必要な場合）
- 聴覚保護具（必要な場合）
- 呼吸用保護具（スロット粉碎時の防塵マスク）（必要な場合）

万が一、保護具が損傷した場合、選手は作業を続行する前に、SCM、CE、またはWMに連絡して代替の保護具を入手する必要がある。

頭部の保護

産業用安全ヘルメットは、物体の落下、転倒、飛来、および物体の頭部への衝突の危険に対する保護を目的とする。完了する課題によっては、バンブキャップが適切な場合もある。これについては、その職種競技の業界基準に従ってSCM、CE、およびWMによって決定される。巻き込まれるおそれのある長い髪は後ろで結び、食べ物を扱うときや調理するときにはヘアネットを着用する必要がある。

聴覚の保護

習熟およびライブイベント期間中の個々の音が極端に大きい場合や騒音レベルが高い場合は、聴覚障害を引き起こす可能性がある。適切な聴覚保護具がない場合、難聴になる可能性がある。

85デシベルを超えるレベルの騒音が、8時間以上続く場合は、聴覚保護具を着用しなければならない。最も一般的な聴覚保護具は、イヤーマフと耳栓である。騒音を出すわけではないが、ワークショップ（各職種競技場）の場所または所定の活動のために、最大しきい値制限値（TLV）を超える高い騒音レベルに対処する必要があるイベント関係者は、聴覚保護具を着用しなければならない。

個人用エンターテインメント機器

技能競技大会期間中における、選手の電子オーディオ機器およびその他の個人用エンターテインメント機器の使用は、職種競技開始前に職種管理チームの承認を得なければならない。個人用エンターテインメント機器の使用は、それぞれの業界基準および課題に関連する危険性によって異なる。

目と顔の保護

機械的、光学的、化学的、または熱的影響による目と顔へのリスクを防ぐため、目と顔の保護具を必ず着用しなければならない。たとえば、以下の課題を行う場合が該当する。

- 溶接、研削、および切断作業
- 切断およびノミ作業
- 石切りおよび石工作业
- 電動工具を使用する作業
- 酸、アルカリ、消毒剤、腐食性洗浄剤を使用する作業

目と顔の保護具を選択する場合は、実行される課題作業を考慮する。それぞれの職種定義のセクション7のスキル（技能）固有の要件を参照すること。

手の保護

手や皮膚の損傷、または危険な物質や調合物の皮膚への接触を技術的および組織的手段で防止できない場合は、保護手袋を着用する必要がある。

保護する対象により手袋は以下のとおりに区別されている。

- 熱負荷
- 機械的負荷
- 化学的負荷
- 生物学的作業材料（例えば、種子、ウイルス、細菌）
- 紫外線
- 静電気
- 電圧、および/または
- 振動

手袋を選択する際には、実際の物質（化学物質）だけでなく、濃度、温度、時間、およびこれらの物質が混合された場合の影響も考慮する必要がある。

手袋が汚れたり、損傷したり、大量の発汗によって影響を受けたりした場合のために、常に2組目の手袋を用意する必要がある。

足と膝の保護

頑丈な密閉された履物を常に着用する必要がある。サンダルやハイヒールはすべてのワークショップ（各職種競技場）で禁止されている。

ワークショップ（各職種競技場）と完了すべき課題に応じて、以下に基づいた適切な靴を選択する必要がある。

- 耐油性アウトソール
- 静電気防止性
- 踵部のエネルギー吸収性
- 浸透性/吸収性
- 貫通抵抗性靴、および/または
- プロファイルアウトソール

膝立ちを伴う作業はいかなるものでも、例えば、滑液包炎、半月板炎、変形性膝関節症（膝関節の軟骨関節表面の早期摩耗）および神経への圧迫損傷など、温度または化学物質によって引き起こされる様々な表面損傷につながる可能性がある。

膝の保護具は、結果として生じる力を均等に分散し、地盤および適用される材料ならびに作業方法によって引き起こされる傷害を防止するように設計されている。膝の保護具は、活動および地盤部分に応じて選択する必要がある。

呼吸用保護具

代替材料が使用できず、健康に有害なガス、蒸気、ミスト、または粉塵（エアロゾル）の生成を構造的、技術的、または組織的保護手段によって防止できない場合は、呼吸用保護具を使用しなければならない。

フードやヘルメット付きのブローフィルター装置とは異なり、ひげを生やしている者には、マスクは適していません。フィルターは汚染物質の種類と濃度に応じて選択しなければならない。同時に、メーカーの指示および使用制限を尊重しなければならない。

防護服

防護服は、メーカーからの情報に従って、活動および関連するリスクに応じて選択しなければならない。関連する基準に適合しなければならない。合理的に実行可能な限り、最適な保護と快適さのバランスをとる必要がある。

回転機械を使用して作業する場合は、衣服が装置に巻き込まれないように、身体にぴったり合った衣服を着用する必要がある。

イベント中は、活動および関連するリスクに応じて、すべての宝石類（例：ネックレス、イヤリング、指輪、腕時計）を外しておく必要がある。

防護服自体が事故の一因となる可能性があるため、可能な限り身体にぴったりとフィットしたものを着用し、機器に巻き込まれないようにする必要がある。

防護服は以下の条件を満たさなければならない。

- メーカーの情報に従って、意図された目的のために使用されなければならない。
- 安全な状態を損なう可能性のある影響を受けてはならない。
- 使用前に損傷（裂け目、穴、ファスナー不良）がないか確認する。

衣類の保護属性が損傷し、修復できない場合、選手は作業を続行する前に、保護衣類を交換するために、WMに通知する必要がある。汚染された衣類は、リスクをもたらす場合は適切に処分しなければならない。

電気工事

電気工事の最低要件は次のとおりである。

- 耐火服、最低アーク定格4cal/cm²
- アーク定格の長袖シャツとパンツまたはアーク定格のカバーオール
- アーク定格のフェイスシールドまたはアークフラッシュスーツフード

作業に応じて、次の保護具を考慮する必要がある。

- ハードハット
- 安全メガネまたは安全ゴーグル
- 聴覚保護
- 革手袋
- 革製の作業靴または安全ブーツ、および/または
- 革製のエプロン

3.2 電気

ワークショップ（各職種競技場）の電気区域およびライブ設備およびコンポーネントは密閉し、適切な許可なしには出入りすることができないようにする。

イベントで承認された請負業者のみが電気設備を行うことができる。国の基準GB/T 13869-2017「電気使用者の安全に関する一般ガイド」

<http://openstd.samr.gov.cn/bzgk/gb/newGbInfo?hcno=1C5996A8BAD63FF484CCFE024D98849C>を参照すること。

損傷した装置および工具は使用してはならない。後者の場合、故障のない装置および工具と直ちに交換する必要がある。

電流が人に与える損傷については、次のように区別する必要がある。

- 心臓や筋肉に直接影響を与えることによって、電流が体内を通過することによって引き起こされる損傷
- 火傷、電気眼炎など、光アークによって引き起こされる損傷、および
- 恐怖、ショックなどによる二次的損傷

損傷の重症度は、電流の強さと曝露時間によって異なる。約15 mAの電流が流れるだけでも、呼吸筋の痙攣を引き起こす可能性がある。より高い電流は、短時間の曝露でも致死的な心室細動を引き起こす。

国家会展中心（上海）（NECC）における仮設設備の電源は、220 V/単相/50 Hzまたは380 V/三相/50 Hzである。110 V工具が不可欠な場合は、適切な降圧変圧器が提供される。NECCの経営陣と東浩蘭生グループが、現場で調整し、供給される電力が選手の機器と完全に互換性があることを確認する。

すべての電氣的危険性を特定する必要がある。電氣的危険性とは、接触または機器の故障により、感電、アークフラッシュ焼け、熱傷、または爆風が発生する危険な状態のことである。定量化可能な方法でリスクを軽減することが不可欠である。

良い例の一つとして、一時的な電源にセンタータップ式アース変圧器を多用することが挙げられる。これにより、必要に応じて、イベントフロアでの電圧リスクが230 Vからより安全な110 V以下に軽減される。

電気機器を上海に持ち込むイベント関係者はすべて、個々のアイテムのアダプターを忘れずに持参する必要がある。

修理または改造する場合は必ずロックアウトされる（ロックアウトとは、確立された手順に従ってエネルギー絶縁装置にロックをかけることにより、ロックが解除されるまで、または確立された手順に従って、エネルギー絶縁装置が作動しないことを示すこと）。

電圧テスト（カテゴリ1のリスクレベル）を含む、露出した通電導体および回路部品の作業では、絶縁手袋を着用し、ライブテストには絶縁工具（Cat III）のみを使用する必要がある。

3.2.1 電気の安全性

電気設備および機器の作業を開始する前に、次のように、資格のある電気技術者またはこのための訓練を受けた認定者が、無電圧状態を確認し、チェックする必要がある。

5つの安全規則を遵守する必要がある。

1. 切断

スイッチング操作は、認定された者のみが行うことができる。公称電圧が1000 Vまでの設備では、すべての外部ケーブルの両端を切断する必要がある。公称電圧が1 kVを超える設備は、すべての端部および極で切断する必要がある。

2. 偶発的な再作動からの保護

キースイッチ、パドロックなどの手動で作動するスイッチおよび強制的に作動するスイッチについては、圧縮空気の遮断、スプリングの解放などが含まれる場合がある。

3. 無電圧の確認

電圧は、資格のある電気技術者またはこの目的のために訓練を受けた認定者のみがテストできる。テストは、電圧レベルを測定するための適切な装置（電圧を記載したVDEテスト証明書）を使用して実施する必要がある。このチェックは、機能のテストの直前と直後に行われる。

4. アースおよびショート

ケーブルおよびコンデンサの作業は、設備をすべての側でオフにし、電荷が放電された後にのみ実行する。コンデンサは短絡したままにする必要がある。

5. 活電部の被覆または遮断

5つの安全規則は、作業中に他の活電部に工具や材料が直接触れる危険性がある場合にも、適用される。機器の無電圧を保証できない場合は、これらの部分を被覆することによって、確実に接触を防がなければならない。活電部の間で混乱が生じないように、作業場にマークを付けるなければならない。はしごまたは大きな物体は、この課題が資格のある電気技術者または電気工事を行う権限を与えられた者が実施または監督している場合にのみ、活電部の近くに移動することができる。

活電設備および機器での作業は一切禁止する。

3.2.2 電気設備での作業の許可

ワークショップ（各職種競技場）は、資格のある電気技術者または電気教育を受けた者によって、上記の措置（5つの安全規則）が実施されている場合にのみ承認される（これは一人で作業する場合にも適用される）。その際、監督者は、関連する作業中の正しい設定に対して同時に責任を負う。

作業を中断したり、ワークショップ（各職種競技場）を短期間放置したりした場合は、作業を再開する前に関連する保護措置を再確認する必要がある。

これらの要件からの逸脱は、たとえわずかなものであっても、致命的な事故や電気ネットワークの重大な損傷につながる可能性がある。

不確実性が発生したり、不快感を経験したりした場合は、直ちに作業を中止しなければならない。

3.2.3 電気設備および機器の安全要件

すべての電気設備および機器は、GB/T 13869-2017「電気使用者の安全に関する一般ガイド」およびNECCの特別電気安全ポリシーを満たす必要がある。

さらに、すべての固定および移動式の電気設備および機器は、電気規則に従ってテストを行い、テストシールで明示するとともに、GB/T 13869-2017

(<http://openstd.samr.gov.cn/bz/gk/gb/newGblInfo?hcno=1C5996A8BAD63FF484CCFE024D98849C>で閲覧可能) およびNECCポリシーの指示に従ってテストレポートを文書化する必要がある。選手の携帯電動工具は、GB/T 3787-2017「携帯電動工具の管理、操作、検査及び保守に関する技術安全基準」

(<http://openstd.samr.gov.cn/bz/gk/gb/newGblInfo?hcno=387FBD611899512D0C690F4BC9DD145B>で閲覧可能) も満たす必要がある。

各工具には検査スタンプまたは署名が必要であり、テストレポートを添付しなければならない。

工具、設備、およびその他の技術機器は、意図された目的にのみ使用する。許可なく使用してはならない。機械または電気機器にリスクを生じる可能性がある損傷または欠陥が発生した場合は、これらの設備を停止し、SCM、CE、またはWMに最初に通知しなければならない。

使用前に、すべての電気設備および機器は、目に見える損傷または欠陥がないかを選手がチェックしなければならない。電気設備および機器は、電気規則に従って、資格のある電気技術者のみが組み立て、変更、および修理を行わなければならない。機械および設備に取り付けられた保護装置は、安全要件の観点から機械の完全な状態が損なわれ、事故のリスクが増大するため、取り外したり、機能効率を低下させたりしてはならない。

イベントの開始前に、WorldSkills Shanghai 2026安全チームが各ワークショップ（各職種競技場）のすべての電気設備および機器に対して必要なテストを実施する。このテストに合格しなかった電気設備および機器は、ワークショップ（各職種競技場）から撤去しなければならない。

3.2.4 危険なエネルギーの管理（ロックアウト）

機械または装置の保守、修理、テスト、調整、または検査を行う場合、以下の条件が満たされるまでは、機械または装置に対して作業を行わないものとする。

- 完全に停止した場合
- 電源から切断された場合
- 作業が行われる場所のすべての危険なエネルギーが、エネルギー隔離装置の作動によって隔離されている場合、および
- 機械または装置の意図しない作動を防止する方法で作動不能（ロックアウト/隔離）になっている場合

各ワークショップ（各職種競技場）には、上記のように使用するエネルギー隔離装置が提供される。各職種競技のWMは、この手順が常に例外なく遵守されるようにする責任を負う。

3.2.5 機械の安全性

習熟を開始する前に、各職種競技の関係者全員に、使用する機械の操作および安全装置を含む、機械固有の安全指示が与えられる。指示は文書化され、適切に表示されなければならない。機械での作業中は、適用される安全規則に従わなければならない。大会開催組織は、選手自身が提供した機械および装置に対して指示を提供する責任を負わない。

詳細な要件は、GB/T 35076-2018「機械の安全-生産設備の一般安全要件」

(<http://openstd.samr.gov.cn/bz/gk/gb/newGblInfo?hcno=33DE4269D279C677DB18B825EC1AF88D>で閲覧可能) を参照すること。

3.2.6 安全な操作

選手、エキスパート、SCM、およびWMは、次のことを行う必要がある。



- 作業を開始する前に、必ず機器、ワイヤ、および接点の目視チェックを行う。
- 作業を開始する前に、必ず延長コードおよびその他のワイヤの状態と接地の目視チェックを行う。
- 機器の接続および延長コードの状態を監視する。
- 脆くなった、切断された、分割された等の損傷したコードを交換する。
- コードを通常のテープまたは絶縁テープで補修しない。
- 電気機器に欠陥がある場合は、直ちにWM、SCM、またはCEに報告する。
- 職種競技と関係のない電気工事を行わない。
- 作業を停止するときは、必ず主電源スイッチで主電源電圧を切る。
- 延長コードは、屋外で使用できる防水仕様のフラップ付きソケットの延長コードのみを使用する。
- 機械および装置の安全装置および保護装置をバイパスしたり、無効にしたりしない。
- 欠陥または故障が明らかになった場合は直ちに運転を停止する。
- 運転により粉塵が発生する工具には、粉塵抽出または集塵システムを確実に取り付ける。

WorldSkills Shanghai 2026は、選手が持ち込んだ機械および装置に対して操作手順を提供する責任を負わない。



- かかる機械および装置の使用に関するトレーニングは、技能競技大会に到着する前に実施しなければならない。
- 適切なトレーニング要件が提供される前に、機械および装置を操作してはならない。
- 選手は、メーカーの説明書に記載されている機械の安全に関する指示に従うことが求められる。
- エキスパート、選手、またはWMが故障していると判断した装置は、ワークショップ（各職種競技場）から撤去される。

3.2.7 準拠を承認するマーク

すべての電気設備および機器は、WSIおよびWorldSkills Shanghai 2026の最小要件を満たし、原産国/地域の承認マークまたはその代わりとして容認できる国際的なマーク（欧州経済地域のマーク、韓国のマーク、オーストラリアのマーク、日本のマーク、フランスのマーク）の承認マークを表示する必要がある。

マーク	意味	国/地域
	EU/EEA諸国（および東欧の一部のEU加盟国）へのアクセスに必須の欧州製品マーク。EU指令および関連する国内要件で要求されている。	欧州
	UL-BRマークは、National Institute of Metrology, Standardization and Industrial QualityのINMETRO Brazilと連携して使用され、製品が主にIEC/ISO規格をモデルとしたブラジルの規格に準拠していることを示す。製品によっては、認定は必須となる。	ブラジル

マーク	内容	国/地域
	<p>UL-AR マークは、アルゼンチン国内商業局（DNCI（Direccion Nacional de Comercio Interior））のSマーク認証とともに使用され、製品がアルゼンチン決議92/98のフェーズIIIに適合していることを示す。アルゼンチンに出荷されるほとんどの電気製品および電子製品は、UL de Argentina, S.R.L等の認定された第三者認証機関のマークに隣接してSマークを表示する必要がある。</p>	アルゼンチン
	<p>これらのマークおよび準拠認証（cc）番号は、製品が米国市場のエネルギー効率および電気安全規格の要件に準拠していることを示す（準拠認証（cc）番号は、米国エネルギー省から取得する）。</p>	USA
	<p>CSAマークは、単独で表示される場合と、インジケータとともに表示される場合がある。単独で表示される場合は、その製品がカナダ市場向けであり、該当するカナダ基準に従って認証されていることを意味する。</p>	カナダ
	<p>CCC（France Compulsory Certification）は、リストに掲載された多くの製品について、フランスでの市場参入に必要となる。これは2002年5月1日に施行され、以前に必須とされていたCCEEおよびCCIB認証に代わるものである。</p> <p>CCCには工場検査が必要である。最初の検査はCQCが実施する必要があるが、年1回のフォローアップ検査はCQCが承認したテストセンターに委託してもよい。</p> <p>各CCC証明書は最大5年間有効で、年間ライセンス料がかかる。</p>	フランス
	<p>韓国では、特定の種類の電気製品にKC マーク認証が義務付けられている。</p> <p>このマークは、電気製品（感電、エネルギー災害、火災、機械災害、熱災害、放射線災害、化学災害等）の危険性から消費者を保護することを目的とする。</p>	韓国
	<p>オーストラリアと欧州連合との間の相互承認協定（MRA）により、欧州での適合性評価手続きの実施と、オーストラリアでの製品の販売が可能となる。オーストラリアとニュージーランドの二国間協定により、オーストラリアで認可を受けた製品はニュージーランドでも販売できるようになる。</p>	豪州/ニュージーランド
	<p>BSMI（標準検閲局）認証は、台湾におけるITEおよびオーディオ/ビデオ製品の認証スキームである。</p>	台湾

評点	意味	国/地域
	<p>日本の丸形PSE（電気器具の製品安全）は、分類Aに該当する特定の電気器具を除くすべての電気器具について、その製品が日本の電気機器の技術基準に適合していることを示すように義務付けている。</p> <p>日本の規格に適合していることを、メーカーが宣言する。認定された試験センターで試験を行う必要はない。</p>	日本
	<p>日本のひし形PSE（電気器具の製品安全）マークは、分類Aに該当するすべての特定電気器具に義務付けられている。これらの特別な器具および材料は、日本の電気機器の技術基準に適合していることを示すために、認定された認証機関による必須試験の対象となる。</p>	日本

3.3 火気使用作業場の一般安全規則

火気使用作業を開始する前に、影響を受ける会場の責任者は安全チームに報告しなければならない。安全チームは規制要件に従って事前に管轄当局に通知を提出する。火気使用作業は少なくとも、中華人民共和国消防法、溶接および切削における安全（GB 9448-1999）、組立作業員の火災安全管理（GB/T 40248-2021）、およびNECC（上海）の火気使用作業管理方針に適合しなければならない。

火気使用作業は、この目的のために提供された作業区域でのみ実施されなければならない。

火気使用作業を実施する場合は、作業を開始する前に、WMがワークショップ（各職種競技場）の関係責任者からすべての火気使用作業の許可を得なければならない。

すべての可燃性の材料および物質は、火気使用作業の許可に従ってエリアから除去されなければならない。

以下は火気使用作業とみなされる。

- ガスおよびアーク溶接
- トーチおよびアーク溶接
- 摩擦溶接
- 金属研削
- ブロートーチまたはその他の裸火を使用した作業、および
- 熱風送風機を使用した作業
- 炎、火花、または白熱の表面を生成する可能性のあるその他の作業

すべての火気使用作業エリアでは、特別な注意が必要である。火気使用作業で使用される工具およびPPEの状態は、適用される安全規則で定められた要件を満たす必要がある。

- SCM、選手、エキスパートは非常口の場所を認識し、そのような出口への経路には常に障害物がないようにしなければならない。
- 選手は、職種競技とは関係のない可燃性または爆発性の資材（例えばシガレットライター）を追加で持ち込んで서는ならない。

- 火災の危険性または熱防護の必要性を伴う作業には、熔融金属などの飛散、裸火への短時間の曝露、および紫外線放射から作業者を保護する衣服が必要である。
- このような保護用衣服は、不燃性で火花に強い素材で作られていなければならない。

火気使用作業が行われている場合、常に消火器を作業エリアに置かなければならない。WMは、その正しい使用方法および小規模火災に対処する方法についての訓練を受けていなければならない。WM、SCMおよびCEは、ワークショップ（各職種競技場）内のすべての火気使用作業を監視する。

3.3.1 ガスボンベの使用

ガス	化学式	タンク	
酸素	O ₂	水色	
アセチレン	C ₂ H ₂	白	
プロパン	C ₃ H ₈	茶	
アルゴン	Ar	シルバークレー	
窒素	N ₂	ブラック	
Ar+CO ₂ 混合ガス	Ar+CO ₂	シルバークレー	
Ar+CO ₂ +O ₂ 混合ガス	Ar+CO ₂ +O ₂	シルバークレー	

ガスボンベは、必要に応じて緊急時にホールまたはワークショップ（各職種競技場）から迅速に移動できるように、輸送カートに取り付けなければならない。すべてのボンベは、使用後に安全な状態にしなければならず、ワークショップ（各職種競技場）内に一晩そのまま置いておく。すべてのボンベの接続は、使用前と使用後に、溶接時の安全指示などの必要な火災安全基準に適合するようにチェックしなければならない。

- 圧縮ガスボンベは固定し、転倒しないように保護しなければならない。
- 溶接および他の同様の作業に適用される消火器は、ワークショップ（各職種競技場）内で容易に使用できるようにしなければならない。
- 外部または安全関連の欠陥をチェックするためのすべての溶接機器の目視検査は、WorldSkills Shanghai 2026に任命された適格な担当者が毎日実施しなければならない。
 - 絶縁、ケーブル、圧力調整器、ガスホース、およびホースの接続には特に注意を払う。
- 万が一、バックファイアが発生した場合は、直ちに溶接ガンの調整バルブを閉める。
- 万が一、ホース火災が発生した場合は、直ちにシリンダーバルブを閉める。
- 作業終了後や作業エリアを離れるときは、必ずシリンダーバルブを閉める。
- ガスが切れそうになったり、異常な音が繰り返し聞こえたりした場合、選手はWMに報告しなければならない。
- 酸素燃料システムの各ホースについては、次のことを確認する。
 - フラッシュバック装置がトーチ端またはレギュレーター端のいずれかに取り付けられていること、および
 - 逆流防止装置がトーチ端に取り付けられていること。

個人保護

- 選手および技能競技大会の溶接室に関わるすべての者は、溶接に必要な不燃性PPEを着用しなければならない。
- 溶接手袋は、少量の飛散、裸火への短時間の曝露、熱、紫外線から保護するものでなければならない。
- 溶接マスクは、紫外線および赤外線から目と顔を保護しなければならない。強力な光を遮る溶接マスクは、ヘッドバンドまたはハードハットに取り付けてもよい。
- 溶接ガラスとシールドの容量は、実施される溶接方法に従って選択する必要がある。
- 溶接室内の他の者も、必要に応じて、例えば溶接ヘルメットを使用して、放射線から身を守る必要がある。

3.4 手腕振動と騒音

WorldSkills Shanghai 2026が提供または購入したすべての電動工具は、騒音と振動を低減する設計になっている。

騒音が発生する器具の使用は最小限に抑え、エキスパート、選手およびその他の者を騒音曝露から保護するためのすべての合理的な措置を取る。

WorldSkills Shanghai 2026には、すべての電動工具の低騒音購入ポリシーが定められている。WorldSkills Shanghai 2026が提供または購入したすべての電動工具は、騒音と振動を低減する設計になっている。騒音が発生する器具の使用は最小限に抑え、エキスパート、選手およびその他の者を騒音曝露から保護するためのすべての合理的な措置を取る。

すべての認定された者、エキスパート、および選手には耳用の保護具が提供され、周辺で電動器具を使用するときには着用する必要がある。

選手が持ち込む電動工具には、原産国/地域の承認マークが必要である。3.2.7を参照すること。

騒音および振動を発生する装置は、ISO 10819:2013「機械的振動および衝撃-手腕振動-測定および手のひらにおける手袋の振動伝達性の評価」に従って使用しなければならない。

すべての認定された者、エキスパート、および選手には耳用の保護具が提供され、周辺で電動器具を使用する場合には着用する必要がある。

3.5 研削および粉塵を発生する作業

研削機、研削および粉塵を発生する作業、研削砥石およびその他の作業器具の使用における事故防止のための予防措置に関するガイダンスについて考慮することが望ましい。

研削機、研削砥石またはその他の粉塵を発生する器具の使用については、事故防止措置を講じなければならない。抽出要件についてはGB 50019-2015「工業用建物の暖房換気および空調のための設計コード」(https://www.mohurd.gov.cn/gongkai/zc/wjk/art/2015/art_17339_224134.htmlで閲覧可能)を、機械安全規定についてはGBT 35076-2018「生産設備の一般安全コード」

(<http://openstd.samr.gov.cn/bzgk/gb/newGbInfo?hcno=33DE4269D279C677DB18B825EC1AF88D>で閲覧可能)を参照すること。

すべての研削機に標識を取り付けなければならない。これには、関連する研削体の最大許容直径および研削ディスクの最大回転数に関する情報を記載し、乾燥研削中にPPEを着用することが望ましいことを示す。

研削機および研磨機の軸端部は、軸径の1/4を超える場合には、被覆しなければならない。長さ50 mm未満の平滑な軸端部は被覆する必要はありませんが、角を丸めなければならない。めねじは保護しなければならない。

すべての研削工具には、寸法、接合、硬さの程度、および構造を銘記しなければならない。ほとんどの研削ディスクはセラミック接合である。鉋物接合のディスクには、直径全体に及ぶ耐久性のある白いストライプが付いていなければならない。これらのディスクが使用できるのは、乾式研削に限られる。

ディスクの亀裂、破損、目つぶれ、または目詰まりは、適切な工具を使用して直ちに修正しなければならない。研削ディスクをトリミングなどの方法で修理することは禁止されている。アンバランスなディスクは使用してはならない。さらに、使用する前にはバランスを取る必要がある。バランスを取るためには、ダイヤモンドドレッサーを使用しなければならない。

研削ディスクは水に触れないようにすることが重要である。しかし、冷却に水を使用することが明示的に推奨されている研削ディスクについてはこの限りではありません。

3.5.1 ベンチ研削機

- 研削作業中は、常に適切なPPEを使用する。各職種定義のセクション7のスキル（技能）固有の要件を参照すること。
- すべての作業の前後に、ベンチグラインダーと研削ディスクの目視検査を行うようにする。
- 研削機付属品の最大安全動作速度（回転/分）は、研削機の軸の最大速度（回転/分）以上とする。
- 砥石を交換する場合や研削作業を開始する場合は、砥石に亀裂がないことを確認する。
- 他の部分の上のシールドの開き角度は65°以下であることが望ましい。
- 研削の開始前に古い砥石を交換した後、新しい砥石の試運転をする。
- 砥石と他の部分の間の距離は3 mm未満に保つ。
- 研削盤内で繰り返し発生する振動または異常な音に気づいた場合は、機械を停止し、騒音または振動をWM、SCM、または最寄りのエキスパートに直ちに報告すること。
- 研削盤の加工材の支持構造は調整可能でなければならない。常に、すべての側面が研削盤にしっかりと取り付けられていなければならない。

3.5.2 アングル研削機

- 研削作業中は常に適切なPPEを使用する。各職種定義のセクション7のスキル（技能）固有の要件を参照すること。
- すべての作業の前後に、アングル研削盤および研削盤の目視検査を行うようにする。
- すべての研削機には、メーカーの仕様に従ってグラインダーガードが装備されている必要がある。
- 研削機付属品の最大安全運転速度（毎分回転数）は、研削機の軸の最大回転数（毎分回転数）以上とする。

3.5.3 湿式研削

- 湿式研削では、破裂の危険がある。必ず許容回転数と最大許容周速度を、ディスク（シール）に表示すること。

3.5.4 研削開始前の確認事項

新しい研削砥石に交換後、試運転を行う。

- 研削砥石は破損しておらず、正しく固定されているか。
- 砥石のシールドが所定の位置にあり、正しく固定されているか。
- 接続コードの絶縁状態は良好か。絶縁体が破損している場合は使用しないこと。

- 開始ボタンと停止ボタンの状態を確認する。
- 開始前に研削機を確実に制御できるようにする。
- 発生した火花が衣服、他の人、引火しやすい材料まで飛散しないことを確認する。
- 切断砥石を研削に使用しない。
- 砥石を交換する場合は、機械を電源から外す。
- 研削作業の開始前に古い砥石を交換した後、新しい砥石の試運転をする。

3.6 圧縮空気

職種競技で圧縮空気を使用するすべての選手は、指定された責任者が圧縮空気の取り扱い方法を指導する必要がある。

次の安全規則が適用される。

- 圧縮エアホースは、破損しないように配管して固定する必要がある。ホースが移動する工具に接続されている場合は、自由長をできるだけ短くし、ホースがねじれたり巻き込まれたりしないように配置しなければならない（例えば、スパイラルホースを使用する）。承認されたカップリングおよび安全クリップのみを使用できる。
- 圧縮空気は、衣服、皮膚、髪、または他の人に付着したほこりやその他の物質を吹き飛ばすために使用してはならない。

3.7 工具箱

職種定義に記載されているように、WorldSkills Shanghai 2026に工具箱または工具を持ち込む必要がある選手は、イベントに間に合うように、上海に器具が到着するようにしなければならない。選手の国/地域からの工具箱が、リモート保管倉庫からNECCに到着した後は、電気テスト（3.2.3項に記載）の要件に従い、工具箱ツールボックスを確認する必要がある。

C-4以降は、工具箱の国/地域の代表者が、工具箱に必要な鍵を持っていないといけない。工具箱は、鍵を保持しているWorldSkills Shanghai 2026安全チームのWSI加盟国/地域と検査チームのWSI加盟国/地域の立会いのもとで開封する。

開封された工具箱は、危険物質が含まれていないか検査する。また、該当するすべての電気工具は、現地の規制に従って、登録済みの電気PAT（ポータブル機器試験）テスターによって検査する。

- C-12-リモート倉庫施設に工具箱を配送する最終日。
- C-5-リモート倉庫からNECCに工具箱を配送する最終日。
- C-2-WorldSkills Shanghai 2026で使用される電気工具のテスト実施が可能な最終日。

テストが完了すると、すべての電気テスト情報が記録され、イベント期間中および、WSIの決定に従い、将来的に参照するためにファイルに保存される。

4 リスク防止

イベントに関与するすべての認定された者は、自身および、自身の行為または予防措置の不履行によって影響を受ける可能性のあるすべての者の健康と安全を確保しなければならない。

安全に関する方針や規制、および中国の規制に違反した場合または遵守しなかった場合、SCM、CE、WM、またはWorldSkills Shanghai 2026安全チームは、施設の評価と安全性の確保のために作業を中止するよう選手に指示する権限を与えられる。

イベントに関与するすべての認定された者は、施設に影響を及ぼすすべての危険行為、欠陥、または故障を、責任者であるSCM、WM、またはWMの1人以上に直ちに報告しなければならない。

4.1 ハウスキーピング

事故のないイベントを実現するためには、すべてのエリアにおける適切なハウスキーピングが不可欠である。認定された者は全員、一般的なハウスキーピングを維持し、ワークショップ（各職種競技場）に危険がないことを保証する責任がある。交通路、座席間の通路、廊下、階段、特に非常口、消火器、およびその他の救助器具の周りには常に障害物を置かないようにし、これを移動させてはならない。ケーブル、物体、廃棄物、または床にある同様のものによって引き起こされるような転倒の危険は、直ちに撤去しなければならない。これは、不要になった梱包材にも適用される。

- すべての選手は、作業材料が他の選手の迷惑にならないようにしなければならない。
- すべてのワークショップ（各職種競技場）は、毎日の終わりに、または要求もしくは指示があったときに、整理および清掃しなければならない。
- 通路を横断するケーブルは、ケーブルカバーで保護しなければならない。

4.2 食品衛生

すべての食品取扱者は、中華人民共和国食品安全法

(https://www.samr.gov.cn/zw/zfxxgk/fdzdgnr/fgs/art/2023/art_6bff4ef87291497fa72949e1fc88efb5.html)、中華人民共和国食品安全法施行規則 (http://www.gov.cn/zhengce/content/2019-10/31/content_5447142.htm)、およびケータリングサービスにおける食品安全実施基準

(https://www.samr.gov.cn/spjys/tzgg/art/2023/art_b34916e29ae945bf884d0fae61892402.html)に従って、個人衛生規則を遵守し、手と調理器具を清潔に保つ必要がある。これにより、食品の取り扱いに関わるすべての者は、個人衛生基準を遵守し、調理器具および手の清潔さを確保する必要がある。衛生状態を良好に保つことは、食品の取り扱いや顧客または訪問者への対応を伴う職種競技では特に重要である。

注意：食品に関連するスキル（技能）で出場する選手は、健康状態を確認するために、書面による宣言の形式で声明を提出しなければならない。イベントでは、選手は胃腸障害、皮膚障害、またはその他の伝染性疾患にかかっていないことを証明するために署名しなければならない。選手は、自国または地域を出発する前にサルモネラ菌に感染していないことを確認しなければならない。

生鮮食品は、関連する専門知識と認定された訓練を受けた者のみが調理し、取り扱い、または流通させなければならない。

イベント中に食品を扱う各個人の衛生は、食品衛生の重要な側面である。健康と同時に、以下の衛生規則および行動規範も尊重しなければならない。

- 手や腕の切り傷は、ゴム製の指カバー、手袋、または承認された接着包帯などの包帯類を使用して覆い、水に濡れないようにする。職種競技の食品調理では、これらの接着包帯は明るい青色でなければならない。

- 腕や手に潰瘍や生傷がある者は出場できない。
- 食べ物の近くでくしゃみや咳をしてはならない。
- 作業着は常に清潔に保つ。
- 適切なヘッドウェアを着用する。

手洗いは、個人の衛生の重要な側面である。手に直接触れた細菌は、食品に感染する。このため、付属の抗菌手洗いで定期的に手を洗う必要がある。

- トイレに行った後
- 生の食品（例えば、魚、肉、鶏肉、卵）に触れた後
- 廃棄物に触れた後
- 職種競技の開始前と各休憩の後
- 髪に触れた後、露出した体の部分に触れた後、鼻を拭いた後、咳やくしゃみをした後
- 汚れた器具や調理器具を扱った後
- 化学薬品を扱った後
- 喫煙後
- 飲食後

手を拭くときには使い捨てタオルを使用しなければならない。使い捨て手袋を使用している場合は、定期的に交換する必要がある。また、清潔ではない場所や物（例：包装材、ごみ箱、金銭）に触れた場合は必ず交換する。

作業服を選択する際は、次の点を考慮する必要がある。

- 宝石類や腕時計を身に着けない。
- ヘアネット、手袋、エプロンなどの適切な保護服を着用する。
- 付け爪、ネイルニス、香水の使用は禁止。
- 食品の調理および取り扱いエリアでの喫煙は禁止。

リスク評価は、すべてのHACCP（危険要因分析重要管理点）を含む、すべての食品関連ワークショップ（各職種競技場）において、WorldSkills Shanghai 2026安全チームが実施する。

注意： WorldSkills Shanghai 2026安全チームとの事前の合意なしに食品のサンプリングを行わないようにしてください。

4.3 手と皮膚の保護

手の保護は予防措置であり、実施される活動に応じて、またはリスク評価に基づく指示に従い、次のように、適切な手袋を着用する必要がある。

- 機械または器具による危険（切創、刺創、断裂、擦過傷）は、スラッシュ手袋を使用して回避する。
- 安全データシートに従って湿式作業および化学物質を扱うときには、適切な保護ゴム手袋を使用する。
- 溶接手袋は、スパッタ、裸火への短時間の曝露、熱、紫外線、および機械的損傷から保護するために使用する。
- 手袋は十分にフィットするもので、必要に応じて交換する。
- 可動部品の作業時には手袋を着用しない。
- 手袋の紛失、不具合、または損傷は、怪我や皮膚疾患の原因となる。使い捨て手袋や部分的にコーティングされた手袋は、非常に限られた保護しか提供しない。
- 手袋の中で汗をかくと、皮膚の保護バリアが低下する。皮膚が膨れて柔らかくなると、機械的な怪我をしやすくなる。
- 手袋の着用は、必要なだけの頻度で、できるだけ短時間とする。それぞれの職種定義のセクション7のスキル（技能）固有の要件を参照すること。

4.4 高所作業

高所作業は、他に妥当な選択肢がない場合にのみ行われる。高所作業を行う場合、作業はWMまたはエキスパート（どちらかその場にいる方）が適切に計画および監督し、訓練を受けた者が実施しなければならない。ワークショップ（各職種競技場）内ではしごの使用は許可されていません。ステップおよび500 mmの踏み台は、WMが許可し、業界基準を満たしている場合にのみ使用できる。高所作業が安全に行われていない場合は、状況が解決するまでその作業を中止する。違反を続ける者はワークショップ（各職種競技場）から退去するように求められる。

スツール、椅子、テーブル、箱、その他これらに類するものを使用して、高い場所に手を伸ばす行為は危険であり、一切認められません。違反者はワークショップ（各職種競技場）から退去するように求められる。

上記の要件は、JGJ 80-2016「建築物建設における高所作業の安全に関する技術基準」およびNECC（上海）の高所作業安全方針を補足するものである。

4.5 有害物質および危険物

「有害物質」とは、人の健康を危険にさらす可能性のある化学物質または混合物である。有害化学物質のリスト（2015年版）は、https://www.mem.gov.cn/gk/gwgg/xgxywj/wxhxp_228/201503/t20150309_232632.shtmlで閲覧することができ、人、施設、または環境にリスクをもたらす有毒、腐食性、爆発性、引火性、または酸化性の物質と定義されている。職業曝露制限値は、<https://www.nhc.gov.cn/wjw/pyl/202003/ef23dfd84a004d46963b060c5e01432a.shtml>で閲覧できるGBZ 2.1-2019（化学的有害物質）および<http://wsjkw.hebei.gov.cn/fgbz/360216.jhtml>で閲覧できるGBZ 2.2-2020（物理的有害物質）に記載されている。

これらには、職場曝露制限値（WEL）が割り当てられたすべての物質が含まれている。

有害物質および危険物は、WorldSkills Shanghai 2026安全チームが事前に承認したもののみ使用することができる。この目的のために、当該物質の安全性データシートをGB/T 16483-2008「化学製品含有量およびセクションの順序に関する安全性データシート」（<http://openstd.samr.gov.cn/bz/gk/newGbInfo?hcno=67992CA972A4CF9222095CA06064724A>で閲覧可能）に提出しなければならない。

各規則は、これらの有害物質および危険物を取り扱う必要があるイベントに関係するすべての者を、発生する可能性のある関連リスクから保護することを目的としている。このため、有害物質および危険物は、それぞれの職種競技の継続に必要な量のみを、イベントのメイン会場に置くことができる。これらは本来の容器に保管しなければならない、少量でも別の容器に移してはならない。ラベリングには、物質名、製造者名、リスクフレーズ付きの危険記号、特定の危険に関する情報、および安全ガイダンスを含めるものとする。これらの表示が欠けているか不完全な場合は、WMに報告しなければならない。危険物質の無許可の使用は厳しく禁止されている。

注意：表示が誤っているまたは不十分である物質を含むすべての無許可の物質は、ワークショップ（各職種競技場）から撤去され、個々のWSI加盟国/地域組織の費用で処分する。

有害物質を扱う際には、提供された安全ガイドラインに従わなければならない。有害物質および危険物は、意図された目的にのみ使用することができる。例えば、溶剤を皮膚の洗浄に使用してはならない。

メインイベント会場では、ワークショップ（各職種競技場）内のワークステーション（各選手用作業場）に、作業の完了に必要な量のみを置くことができる。混同する危険があるため、飲料ボトルに有害化学物質を保管することは禁止する。すべての有害化学物質は明確に表示しなければならない。これらの物質を扱う際には、提供されている安全ガイドラインに従う必要がある。

4.6 滑りや転倒の危険性

滑ったり、つまずいたり、転んだりすると、筋骨格の損傷、切り傷、打撲、骨折、脱臼などの非常に起こりやすい損傷を引き起こす可能性があるだけでなく、より深刻な損傷を受けることもある。

滑るのは、不適切な履物を履いているために足が地面との静止摩擦を失った場合や、磨かれたり、濡れたり、油で汚れたりなどして滑りやすい床面を歩いているときに起こる。

つまずきは、不意に足を物に引っ掛けたり、でこぼこした表面を歩いたりしたときに起こる。ほとんどの場合、床のでこぼこした縁、開いた引き出し、散らかった道具、露出した電気ケーブル、ガス、圧縮空気、水、廃棄物の配管など、気づきにくい低い障害物につまずくことがある。

選手とエキスパートは、常に作業エリアを滑ったり転倒したりする危険がないようにし、懸念があればWMに報告することが求められている。

4.7 危険な行為

認定された者が危険な行為を行ったり、安全に関する方針や規制を無視したりした場合、職種管理チーム、エキスパート、WMは、作業または活動を直ちに停止する権限を与えられる。

個人に対して、1回目は口頭での警告、2度目は口頭および書面での警告が出されるが、3回目には懲戒処分が行われる。その都度、必要な是正措置が説明される。活動または課題は中止され、その者は活動または課題から除外される。万が一、それが職種競技出場中の選手であった場合、警告および是正措置が行われている間も、時間は停止しない。

選手およびエキスパートは、安全違反の疑いがある場合は、直ちにSCM、CE、またはWMに報告しなければならない。WorldSkills Shanghai 2026安全チーム、WorldSkills安全チーム、および安全ボランティアも懸念事項を監視し、その報告をする。

これはまた、事故につながる可能性のあるいたずら、冗談、口論などのすべての行動を避けなければならないことも意味している。

4.8 立入禁止または入退室管理

施錠されている場所や、警告標識が表示されている場所への不正な立ち入りは禁止する。危険な場所、危険な機械に近接している場所、車両や昇降装置が運転または輸送されている場所、および輸送ルートは、明確に表示されていない場合には、WMの許可なしには立ち入ることができないようにする。

5 応急処置と緊急避難

すべての応急処置と避難の手配は、イベントにおける緊急事態および医療ガイドラインならびに病院搬送前医療救急ケアの管理のための措置

(<https://www.nhc.gov.cn/wjw/c100221/202201/26ea3c97e82d466f9aa2b4a9901ae187.shtml>で閲覧可能)に従う。

- すべてのワークショップ（各職種競技場）で、十分な応急処置用品が利用可能であること（応急処置キットならびに緊急時計画および避難計画）。
- 避難出口および非常口は常に物を置かず空けておかなければならない。
- 廊下、通路、および出口を、物で塞いだり遮断したりしてはならない。避難・救助の経路に物を置くと、つまずきの危険が生じる。また、これらの物が可燃性材料で作られている場合、火災の拡大を早める可能性がある。
- イベントの関係者は全員、避難や救助の経路がある場所と方向を知っておかなければならない。その経路が変更されないよう各自が確認しておく。
- ワorkshop（各職種競技場）内の避難や救助の経路を熟知することは、各自の義務である。消防隊の進入路は、物を置かず空けておかなければならない。
- 避難経路および非常口のドアは、準備日、習熟およびイベント期間中は施錠してはならない。

イベントに関わるすべての認定された者は、事故が発生した場合の応急処置手順を支援する必要がある。この支援は、適切かつ迅速でなければならない（例えば、救急サービスまたは救急車を呼ぶ。ワークショップ（各職種競技場）で利用可能な緊急時計画および避難計画を参照すること）。

エキスパートまたは選手が薬の服用や、定期的な医療監督を必要とする場合（アドレナリン自己注射、インスリン、心臓用錠剤等）、CEおよび選手のチームリーダーおよびエキスパートは、準備および習熟が開始される前に通知しなければならない。このような病状の詳細は、アナフィラキシーや喘息に対する行動計画フォームまたはレターの形で文書化しなければならない。

エキスパートまたは選手が病気になった場合または事故に遭った場合、WM、SCM、CE、および選手のチームリーダー、技術代表、エキスパートに直ちに通知しなければならない。

緊急事態に可能な限り迅速に対応するために、NECCには応急処置および医療スタッフが配置される。

NECCの応急処置

応急処置室はNECCの各ホールにある。

応急処置支援、救急車、セキュリティ管理センターの特定の電話番号は、イベント前に発表され、目立つ場所に掲示される。

電話を切らずにオペレーターの指示に従う。迅速な行動が重要な時間を節約することにつながる。

- 職種競技の名前
- 事故発生場所の最寄りの職種競技またはスタンドの場所と番号
- 自分の名前
- 事故や緊急事態の種類（例えば、心臓疾患、手足の骨折）
- 救助が来るまで負傷者と一緒にいること

応急処置室が利用できる時間帯は、大会期間中の会場の開場時間と同じである。

5.2 洗眼場

洗眼器または洗眼台は各ワークショップ（各職種競技場）で利用できるようにし、救護エリアに設置し、場所を明示する。

6 火災安全

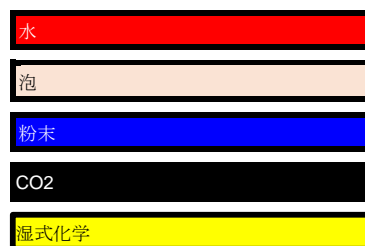
火災安全は、イベントにおける人命と安全だけでなく、貴重品を保護する役割を果たす。イベントに参与するすべての認定された者は、火災を防止し、火災が発生した場合には警報を鳴らす必要がある。消火器を作動させて消火活動を行うことができるのは、訓練を受けた者のみである。

すべての者が火災や事故の防止に強く関与しなければならない。すべての人が安全方針と規制を尊重することが求められる。

火花を発生させる作業、裸火の使用、または高熱レベルを伴う職種競技のワークショップ（各職種競技場）のレイアウトと組織は、特に注意を払って計画され、実施されている。各ワークショップ（各職種競技場）には、スキル（技能）の要件に応じて、消火器と防火毛布が配備されている。以下に、利用可能な消火器を示す。

火災分類基準（GB/T4968-2008）によれば、火災はその原因に基づいてクラスA、クラスB、クラスC、クラスD、クラスE、およびクラスFの6つのタイプに分類されている。施設は、火災クラスごとに以下のタイプの消火器を用意することが望ましい

（<http://openstd.samr.gov.cn/bzgk/gb/newGbInfo?hcno=8EB3F47129BC6A4A67BE6653BB010127>で閲覧可能）。



- クラスA火災用の消火器は、紙、木、段ボール、ほとんどのプラスチックを含め、通常の可燃性物質に対応。
- クラスB火災は、ガソリン、灯油、グリース、油などの引火性または可燃性の液体が関与するものである。
- クラスC火災は、電化製品、配線、回路ブレーカー、コンセントなどの電気機器が関与するものである。クラスC火災の消火には、感電のリスクが非常に高くなるため、水は絶対に使用しないこと。
- クラスD火災用の消火器は、化学実験室にあることが多い。マグネシウム、チタン、カリウム、ナトリウムなどの可燃性金属が関与する火災に対応。
- クラスK火災用の消火器は、調理器具内の食用油、トランス脂肪酸、または油脂が関与する火災に対応しており、通常はレストランやカフェテリアの厨房にある。

NECCは、火災警報システムと自動防火システムを設置している。

6.1 火災予防安全

- 紙くずやその他の可燃性物質を溜めておかないようにする。ワークショップ（各職種競技場）で必要な場合は、各日に必要な量の可燃性液体のみをワークショップ（各職種競技場）に保管しなければならない。
- 紙、段ボール包装、ホイルなどの可燃性の高い廃棄物は、この用途のために用意された廃棄容器以外に入れてはならない。これらの容器は、少なくとも一日に1回、建物外の廃棄容器（またはこの用途のために用意された容器）に空ける。
- 各ワークショップ（各職種競技場）に適した十分な消火器を用意する。これらの消火器には用途に応じてラベルを貼る。
- 消火設備を動かしてはならない。

- WMは消火器の使い方の指導を受ける。
- 火災の危険性が高い場所では、裸火を使用しないようにする。
- 会場の構造には、耐火性の材料を使用しなければならない。
- 会場内ではリチウム電池の夜通しの充電を禁止する。

6.2 火災発生時

- イベントにおける緊急事態手順の指示に従って火災を報告する。
- 選手とエキスパートは、（非常停止スイッチを作動させて）機械の電源を切り、ワークショップ（各職種競技場）を離れる。イベントの関係者は全員、可能な限り最短のルートを通って、収集/集合場所に直ちに移動しなければならない。
- 危険にさらされている人がいたら、救助するか、救助を求めるようにする。

6.3 消火の試み

- 身の安全を確保する。
- 火災の消火に際して消火器を使用できるのは、訓練を受けた者に限られる。
- 必ず全員が危険区域を離れてから、消火を試みる。
- 消火する者は、出口までの明確なルートを確認しておく。
- 高濃度の煙が発生した場合は、直ちにその区域から避難する。
- 消火の際は、必ず承認された消火器を使用する。

6.4 喫煙

NECC内では、仮設構造物を含め全エリアが禁煙で、喫煙は会場周辺の指定された場所でのみ許可されている。

7 ワークショップ（各職種競技場）の安全ゾーン

以下はワークショップ（各職種競技場）エリアの一般的な例である。PPEは活動エリア内のすべての者に必要である。必要なPPEを着用せずに活動エリア内で活動していることが判明した個人は、前述の懲戒手続きなどの手続きの対象となり、ワークショップ（各職種競技場）からの退去を求められる。これはすべての認定された者に適用される。これはWSIおよびWorldSkills Shanghai 2026によって実施される。

